

おんしやく 議会だより



No.146
平成19年10月

●発行／千葉県御宿町議会

●編集／議会だより編集委員会

●発行責任者／新井 明



改選後の初議会

—H19.10.5 第2回臨時会—

9月議会



初議会開催 町議員の新人事構成決まる ……2P

定例会 平成18年度決算など15議案を可決・認定 4P

一般質問 災害対策などについて……………6P

議員定数2名減

14名から12名へ新体制でスタート

平成18年3月定例会において、議員発議による町議会議員定数条例の改正により、今回の一般選挙から町議会議員の定数が12名となり、その定数を超えなかったため立候補者全員の当選が決まりました。

そして改選後の10月5日に初めての議会が招集され、議会の新人事構成の選出が行われました。

新議員紹介

御宿町議会議長
新井 明



この度、選挙後の初議会において、議長に就任いたしました。課せられた職の重さを痛感するとともに身の引き締まる思いで一杯でございます。

九月に行われました御宿町議会議員選挙が十六年ぶりの無投票で立候補者全員の当選が決定しました。この結果を踏まえて、今後は町民の信頼を一層心に刻み、議会活動に励む所存でございます。

今年度から本格的に税源移譲が始まり、国からの財源配分から自ら財源を地方税に課す転換で、体験したことがない地方分権時代に突入しました。議会では、町民の行政における満足の向上と、政策の実行をチェックしますが、活動はそれだけではないと考えます。町執行部側と対等に、政策内

容を調査確認、点検し、議会自ら議案提言、条例制定を行い、財源の確保など、独自の政策構想も持ち、予算審議に臨んでいく必要があります。また、そう改革しなければならぬと考えます。

総務省で採用された「頑張る地方応援プログラム」や県総合企画室の「おんじゅくDE元気プログラム」。また、農林水産省で支援しています布施地区の中山間地域等直接支払い制度等、国や県は地方の活性化にきめ細かい応援をしています。

来年度から国は「ふるさと納税」の導入を目指していますが、これも都市と地方の格差是正を図る目的で行うものです。ふるさとを思う気持ち

を尊重する制度であり、格差是正の効果は大きくはないですが、青少年時代に育てられたふるさとに、思いを込めた制度です。ので、私達の地方における政策と実行が、成果に表れる良い機会と思

います。町民皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

御宿町議会副議長
瀧口 義雄



私は、去る十月五日に開催された御宿町議会第二回臨時会（初議会）において御宿町議会副議長としての重責をお受けすることとなりました。

近年、地方をとりまく財政状況は年々厳しさを増しておりますが、さらなる行財政改革を柱とした行政運営を推進し、住民福祉の向上を図るうえでは、地域住民と行政との連携が大変重要なことといえます。

町議会においては、このような状況の中で住民と行政のスムーズな協働事業の推進や私たちの住んでいる御宿町が安全で安心して暮らせるような町づくりと住民サービスの向上を目指して参ります。

さて、国においては安倍総理の突然の辞任によ

り、福田内閣が誕生しましたが、都市と地方との格差問題への対応や少子高齢化社会における社会保障制度、年金問題など可及的に処理すべき課題が山積しており、国政が地方行政に大きく影響することとなっております。

地方は、これまで文化や伝統を大切に継承し、自然と生態系の調和を図るといふ大事な役割を果たしてきました。そんな地方が活力に満ちた新しい町づくりを展開できるよう地方財政基盤の充実強化に取り組み、自主自立した財政運営を行うことができる真の地方分権型社会の実現が早期に望まれています。

私たちは、諸先輩の方々が達成された輝かしい成果を受け継ぎ、行政自治の確立と住民生活の向上のため、地域の課題を身近に受け止め、対処して参ります。

今後とも町民の皆様のご指導ご鞭撻を切にお願いいたします。ご挨拶といたします。

よろしく申し上げます。

総務委員長

中村 俊六郎



町は地方交付税の削減などにより、基礎的自治体としての役割を十分に果たせない困難な現実が迫っています。

また、合併問題も非常に重要な時期になります。こうした時に必要なことは、住民が主人公になって知恵と力を発揮する時です。

産業建設委員長

式田 孝夫



年々、町の財政が厳しくなり、必要な予算も削減せざるを得ない状況の中、大切な教育や福祉にも大きな影響が出ています。合併を間近にひかえている今、御宿町の位置付けを明確にし、町民の生活を守るために努力いたします。

教育民生委員長

貝塚 嘉 軼



私は、国の三位一体改革の方針によって交付税が減少する中、引き続き行財政改革なくして町の発展・活性化は望めないと思ひ、さらなる改革を進め、安心で安全な活力と個性あふれる町づくりを目指し、努めて参ります。

議会運営委員長

松崎 啓二



議会運営委員長としての重責を再度お受けすることとなりました。

御宿町の将来をしっかりと見据え、議会運営の要として、行政面の難局においても住民主権の立場に立ち、右にするか、左にするか、自覚と責任を以って臨んで参ります。

御宿町議会議員

伊藤 博 明



議長就任中は皆様に大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。

今期からは、気持ちも新たに一議員として御宿町の未来を見つめます。美しい故郷を次世代の子供達に伝えていくための自然環境の整備や教育環境の充実に努めます。

御宿町議会議員

石井 芳 清



自民・公明のくらしと地方切り捨ての政治から、国保税など町民負担の軽減や、人づくり、まちづくりを支援する国・県の新型事業の活用で、町民のくらしを守り元氣な御宿町実現に力を尽くします。

御宿町議会議員

小川 征



地方では、少子高齢化が進み、都市と地方との格差が取り沙汰されている今日、「豊かで住みよい町づくり」と「住民が安全で安心して暮らせる町づくり」を基本理念に町民の立場に立って、二期目の議員活動を展開して参ります。

御宿町議会議員

川城 達 也



自治体経営冬の時代、下げ潮の時代ではありませんが、冬には冬の花が咲き、下げには下げの釣りがあると心得ます。

私は、常に初心を忘れず、また大局を見失うことなく、皆様から付託された代理権を行使して参ります。

御宿町議会議員

白鳥 時 忠



私は、町民の声が届く、開かれた町政の実現のために、できる限り多くの人と話し、意見を聞き御宿町の発展のために努力していきたいと思ひます。

御宿町議会議員

石田 義 廣



美しい自然環境を守り、産業活性の基盤となる人工的環境の維持、整備に意を注ぎます。福祉政策の充実、教育・文化の振興に心を配ります。

先人の遺訓を胸に、町民の皆様とともに確かな町づくりに歩みを進めます。

9月招集 第3回定例会

平成19年9月4日、9月招集第3回定例会が開催され、
15議案を可決・承認しました。

条例の一部改正

◎平成十九年十月一日から施行される郵政民営化法に伴い「日本郵政公社」の用語を削除しました。

《町関係条例》

- ・町情報公開条例の改正
- ・町個人情報保護条例の改正

政治倫理の確立のための御宿町長の

資産等の公開に関する条例の改正

平成十九年九月三十日から証券取引法が「金融商品取引法」に名称変更されることによる字句の改正を行いました。

町運動施設の設置及び管理に

関する条例の改正

旧岩和田小学校の体育館を町運動施設として位置づけ、使用料の設定を行うために条例を改めました。

専決処分

一般会計補正予算(第二号)

平成十九年七月十四日から十五日にかけての台風四号の影響による崩落場所などの復旧作業を緊急に行うための経費について専決処分を行いました。
一千六百三十万三千円を追加し、補正後の予算総額を二十七億七千二百七十六万九千円としました。

補正予算

国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

平成十九年度の老人保健拠出金、介護納付金額の確定等に伴う補正を行いました。

一千九十五万八千円を追加し、補正後の予算総額を十億五千九百二十五万六千円としました。

介護保険特別会計補正予算(第二号)

平成十八年度介護給付費及び地域支援事業の確定に伴い、国・県支払基金への返還及び職員共済掛金の改定による補正を行いました。

八百四十七万九千円を追加し、補正後の予算総額を五億三千四百三十五万五千円としました。



▲秋の大運動会
～ほっとサロン～

一般会計補正予算(第三号)

宅地の評価替えに関わる不動産鑑定委託料や後期高齢者医療制度の創設に伴う電算システムの開発経費の追加、福祉関係措置費の確定による国・県支出金の精算等による補正を行いました。

一千八十万円を追加し、二十七億八千三百五十六万九千円としました。

平成18年度決算状況

一般会計・特別会計・企業会計決算を認定しました。

一般会計の歳入決算総額は、30億189万5千円で前年度に比べ9億534万7千円の減となりました。

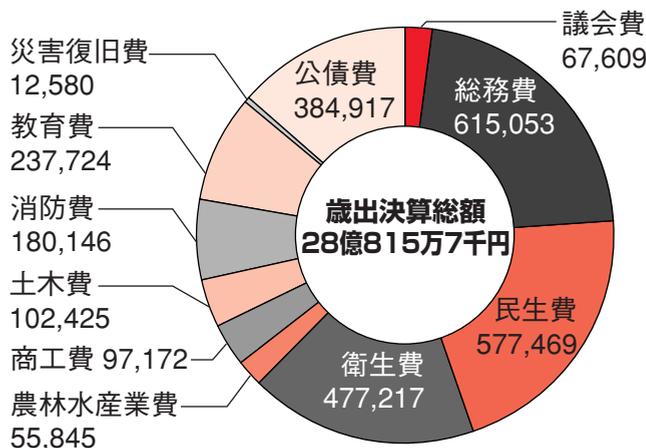
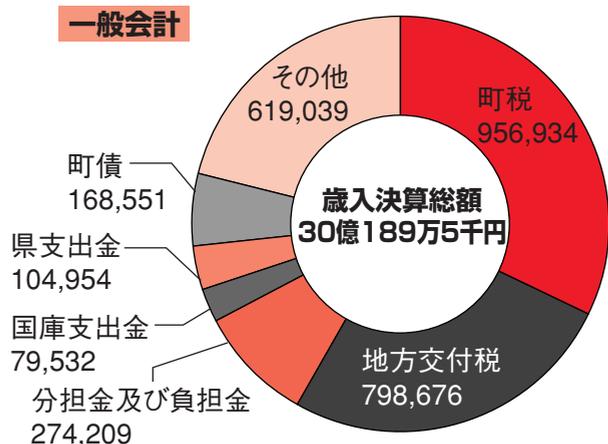
減額の主な要因としては、中学校校舎改築事業の完了に伴い、国庫支出金や町債、基金繰入金等が大幅に減少した他、道路整備事業や漁港整備の繰越事業に係る充当財源の影響等です。

町民税では定率減税の縮減等により増収要因はあったものの、分離譲渡所得の落ち込みや地価の低下、家屋の評価替えによる固定資産税の減少等で、全体として前年度決算額を大きく下回ることとなりました。

また、歳出決算総額は、28億815万7千円で前年度に比べ9億2,032万5千円の減となりました。

減額の主な要因としては、歳入決算と同様に中学校校舎改築事業の完了をはじめ、継続事業で実施している道路改良や漁港整備等に係る事業費の減少等です。また、町行政改革による人件費や管理経費の抑制に努めたことから、各費目にわたり決算規模は減少しましたが、将来の財政安定化のために財政調整基金や減債基金への積み立てを行った結果、総務費においては前年度に比べて約6千万円の増額となりました。

一般会計



国民健康保険特別会計

	決算額	前年度比
歳入	1,049,597	3.0%増
歳出	966,579	1.1%減

●歳入では段階的な保険税率の改正により収入が増加し、歳出においては、医療改革等による療養給費、老人保健拠出金の支出の減少が主な要因となりました。

老人保健特別会計

	決算額	前年度比
歳入	1,030,352	12.1%減
歳出	1,028,740	11.3%減

●平成14年の法改正以降5年目を迎え、医療費の急激な伸びはありませんが、入院医療費及び外来・歯科医療費は、受給者数や入・通院患者数の減少と診療報酬の引き下げなどにより全体として前年度に比べて減少しています。

介護保険特別会計

	決算額	前年度比
歳入	553,811	7.3%増
歳出	524,002	4.6%増

●当町の「75歳以上」の数は平成19年3月末で1,560人(前年より81人の増)となり、超高齢化が進行している中で、要介護認定者やサービス利用者も増加し、保険給付費も膨らみ続けています。

水道事業会計

	収益的	資本的
収入決算額	255,277	7,014
支出決算額	270,085	49,718

●給水戸数は3,522戸で前年度から44戸増えました。水源は、河川及び御宿ダム69.4%、南房総広域水道企業団30.6%となっています。

※単位:千円

輝きに満ちた活力ある町づくりに向け

一般質問

災害対策について伺います

石井 芳清 議員

関係機関とさらに協議を重ねながら、迅速な対応に努めます

総務課長

Q 台風四号の被害状況と今後の対応について伺います。

A 御宿ダムの観測データは最大降雨量三百四十三ミリ、時間最大雨量六十五・五

ミリを記録しました。被害状況は床下浸水一棟、法面崩壊・崖崩れが五十九箇所、水道施設被害三箇所、道路路肩決壊十七箇所、河川護岸等の崩落四箇所、河川等の冠水十八箇所、農業施設被害一箇所の合計一〇三箇所という非常に大きな被害状況が報告されています。このような自然災害から被害を最小限に抑えるために、平常時から道路の点検や管理を実施し、職員に関する防災教育の徹底や消防団との連携、また行政機関や広域消防など防災の専門の方々とも協議し最善の対応を心がけたいと考えます。

Q 来年度以降の執行体制について、職員数を減ずることで住民サービスの低下や今後の行政運営に影響が出ないのですか。

A 町では経常経費の割合が大きい人件費については

抑制に努め、今後も削減を図っていく方針ですが、福祉事業等においては事業が年々増加していますので、事業内容を精査し職員の適正配置に心がけ、円滑な事業の推進をしていきたいと考えます。

現在、行政改革大綱の作業を進めていますので、行政全般においては大綱の中で調整し、少ない職員数でも対応できるような人材の育成に力を入れていきたいと思えます。

「頑張る地方応援プログラム」の進捗状況について

企画財政課長

A 協働の町づくり事業として、国の指定を受け、今実施するヴァイオリニスタイタルや文化交流会におきましては、大変期間の少ない中で多くのボランティアの皆様にご協力をいただきながら進めています。

また、町といたしましては、積極的に事業が進められるような工夫や国・県の指導方針に基づき推進を図っていききたいと考えます。

高齢化時代を迎えての対応と巡回バスの充実について

保健福祉課長

A 高齢者や重度障害者の対応として、ふれあい食会や訪問など町社会福祉協議会を中心として様々な事業を開催していますが、さらに町社会福祉協議会と協議し、充実した事業を展開していききたいと考えます。

巡回バスについては、生活コースの確保として七本から御宿駅まで町スクールバスを活用し、一日三本の運行を実施していますが、高齢者の増加に伴い、町内を巡回する利用しやすいバスの運行についても費用対効果による検証を行いながら検討を進めていきたいと考えます。



▲ヴァイオリニストの黒沼ユリ子女史をお招きしました

平成19年御宿町議会議員の属する各委員会委員名簿

H19.10.5現在

議長	新井 明	副議長	瀧口 義雄
----	------	-----	-------

常任委員会

◎委員長

○副委員長

総務委員会	◎	中村俊六郎	○	川城 達也	石井 芳清	松崎 啓二
産業建設委員会	◎	式田 孝夫	○	小川 征	伊藤 博明	瀧口 義雄
教育民生委員会	◎	貝塚 嘉軟	○	白鳥 時忠	新井 明	石田 義廣

議会運営委員会	◎	松崎 啓二	○	瀧口 義雄	貝塚 嘉軟	伊藤 博明	中村俊六郎
---------	---	-------	---	-------	-------	-------	-------

議会選出

布施学校組合議会	石井 芳清	瀧口 義雄	小川 征		
国保国吉病院組合議会	中村俊六郎	式田 孝夫	白鳥 時忠		
夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会	貝塚 嘉軟	伊藤 博明	新井 明		
千葉県後期高齢者医療広域連合議会	新井 明				
夷隅環境衛生組合議会	新井 明				
議会だより編集委員会	中村俊六郎	新井 明	瀧口 義雄	貝塚 嘉軟	式田 孝夫
名誉町民審議委員会	新井 明	瀧口 義雄	貝塚 嘉軟	中村俊六郎	式田 孝夫
表彰審査委員会	新井 明	瀧口 義雄			
行政改革推進住民懇談会	瀧口 義雄	中村俊六郎			
都市計画審議会	新井 明	瀧口 義雄	式田 孝夫		
町有財産評価委員会	伊藤 博明	松崎 啓二			
町開発審議会	新井 明	瀧口 義雄	貝塚 嘉軟	中村俊六郎	式田 孝夫
野沢委員会	新井 明	貝塚 嘉軟	白鳥 時忠	石田 義廣	
駅舎等建設促進協議会	新井 明	瀧口 義雄	伊藤 博明	式田 孝夫	小川 征
農業振興対策推進委員会	式田 孝夫				
いすみ市大原聖苑管理運営連絡協議会	新井 明	貝塚 嘉軟			
御宿町清掃センター管理運営連絡協議会	新井 明	瀧口 義雄	式田 孝夫		
プール運営委員会	石井 芳清	式田 孝夫	小川 征		
観光協会理事	瀧口 義雄	石田 義廣			
民生委員推薦会	貝塚 嘉軟				
教育施設建設委員会	新井 明	瀧口 義雄	貝塚 嘉軟	中村俊六郎	式田 孝夫
青少年問題協議会	新井 明				
メジロ記念塔建立80周年記念サンフランシスコ号 漂着400周年実行委員会	新井 明				
南房総広域水道企業団運営協議会	新井 明				
夷隅郡市負担金審議特別委員会	新井 明				
御宿町防犯まちづくり推進会議	中村俊六郎				
御宿町消防団分団統合委員会	中村俊六郎				

※敬称省略・議長・副議長・各委員(当選回数順)

請願

悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願書

請願者 千葉県弁護士会 紹介議員 川城達也

採択

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

《提出者》川城達也 《賛成者》瀧口義雄、貝塚嘉敏、松崎啓二

クレジット契約は、代金後払いで商品が購入できる利便性がある一方、強引・悪質な販売方法と結びつくと高額かつ深刻な被害を引き起こす危険な道具にもなります。

現在、クレジット会社の与信審査の甘さから、悪用したマルチ商法・内職商法その他の詐欺的商法の被害が絶えないところです。

消費者に対し、安心・安全なクレジット契約が提供されるために、悪質商法被害の防止と取引の適正化を実現する割賦販売法の改正が必要であることから、意見書を提出するよう求めます。

(内容は要約して掲載しています)

可決

内閣総理大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長へ意見書を送付しました。

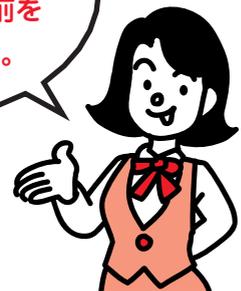
皆さん議会傍聴に来てください

次回定例会

予定 **12月13日(木)**

手続き簡単。

3階で住所と名前を書きだけです。

**編集後記**

秋朝の、はりつめた空気の中、ほのかに金木犀のかがりが漂い、日課の犬の散歩が楽しい毎日が続いております。

先日の御宿町議会においては、一般選挙後の初議会が召集され、緊張した雰囲気の中で、各常任委員会や関係委員会の人事案件が承認され、新しいスタートをきりました。

長年努めさせていただきました議会だよりの編集もバトンタッチとなります。改めてお礼を申し上げます。

瀧口委員長の後、バトンを受けました中村でございます。議会だよりは定例会に併せて年四回を目処に編集しております。

住民の皆様には御宿町議会の協議や審査の状況を分かりやすく、適確にお伝えできるよう努力してまいります。

よろしく願います。

前編集委員長

瀧口 義雄

新編集委員長

中村 俊六郎

